

腕相撲が好きで、友人と頻繁に勝負をしていた。

腕相撲が強い相手と戦いたい！

しかし、強い対戦相手が見つかって、

利き腕が異なると対戦できず、

残念な気持ちになっていた。

これまで学んできた**機械工学の専門知識**を活用して、**利き腕の異なるプレイヤー同士でも対戦できる装置を開発**しよう！

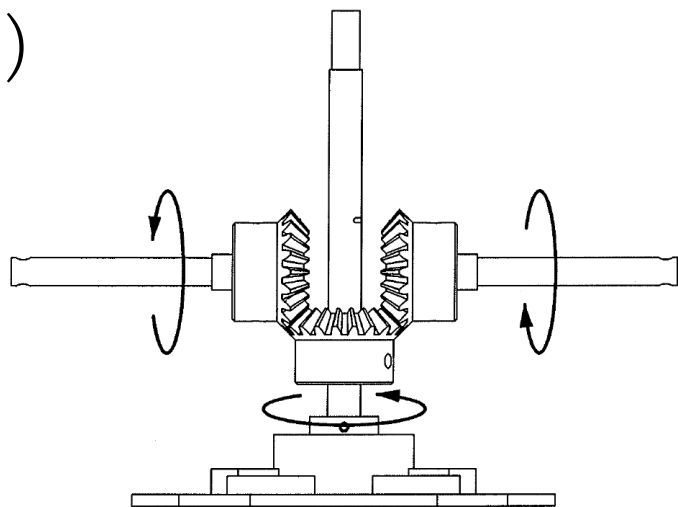
【課題】

対面での対決において、利き腕が異なる者同士の対戦ができない。

【解決手段】

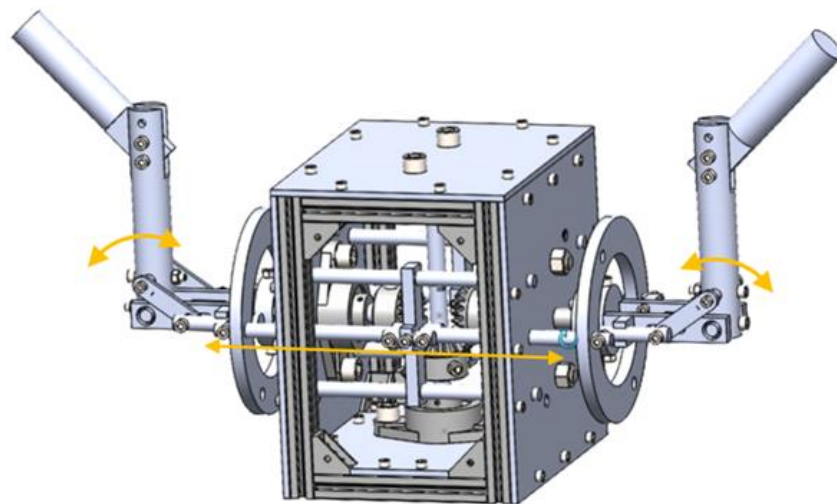
- 1) 力の入力を逆転させて伝える。
- 2) 腕相撲の醍醐味である駆け引きも実現する。

1)



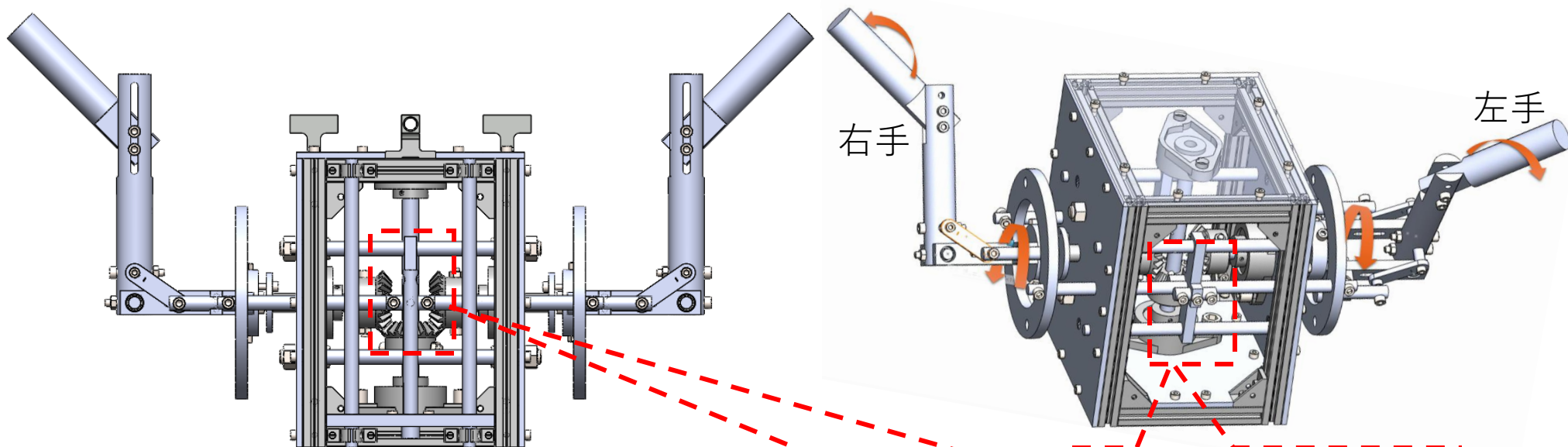
ベベルギアで力を逆転

2)



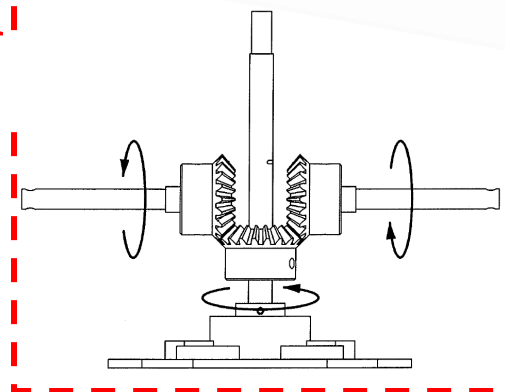
水平スライド機構で駆け引き

1) 力の入力を逆転させて伝える。



作品の全体図

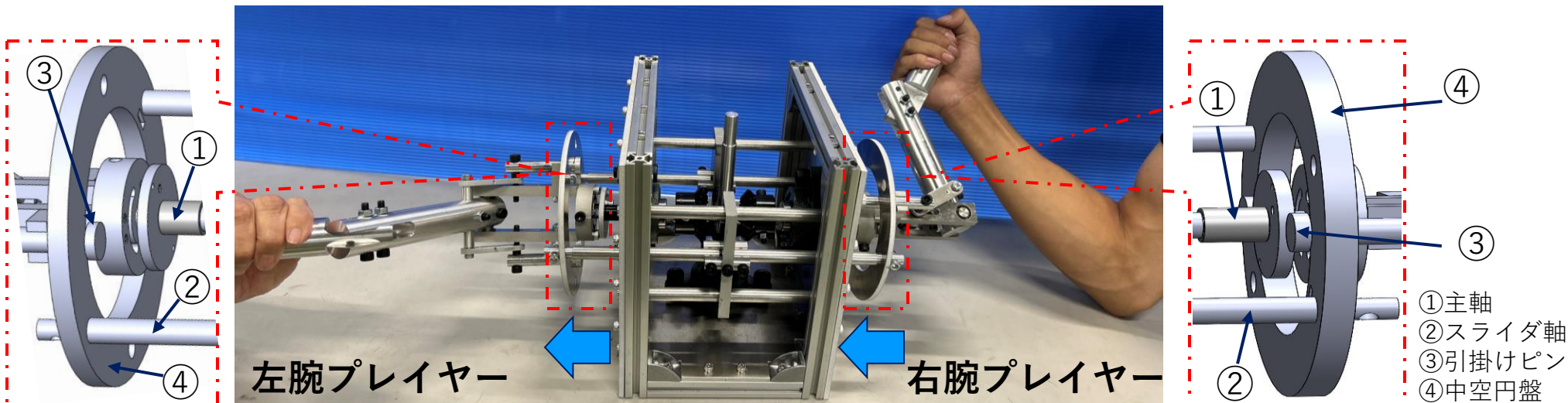
本装置（作品）を通じて、
利き腕の異なるプレイヤー同士の
腕相撲を実現する。



ベベルギアで力を逆転

アームチャンピオン

2) 腕相撲の醍醐味である駆け引きも実現する。



本発明品による対戦時の様子（左腕プレイヤー優勢）
左腕プレイヤーが右腕プレイヤーの腕を引き込んでいる様子

- ・ベベルギアにつながる主軸①は、水平力を伝えるスライダ軸②とは分離している。
- ・引掛けピン③が中空円盤④に引っ掛かることで、スライダ軸②を移動させることができる。
- ・引掛けピン③は、回転力が加わった際には、中空円盤④の円周方向にスライドするだけでスライダ軸②に負荷がかからない構造になっている。

腕を引き付ける力を、スライダを用いて伝達することで、腕相撲の醍醐味である駆け引きも実現できる。